

風

かぜ カゼ

2002.9-18発行No.49

◇寛永瓦が安楽寺ご本堂に

現在のご本山御影堂は寛永十三年(三代将軍徳川家光時)に建設されたもので、今日までに三百五十年を経過しています。此の間数度の部分修理は行っていますが、この度宗祖親鸞聖人七百五十回忌を八年後にひかえ現在「平成大修復」が進行中です。この一大事業に際して世界文化遺産・重要文化財であります御影堂の「寛永瓦」を文化庁からの特別な計らいで安楽寺でもお預かりすることができました。暫しの間、ご本堂に安置しておきます。ご来寺の際には、是非先人たちの篤いおもいを瓦を通して触れていただきたいと念じます。

◇「18」という数のいみ・重み

18という数は私達の生活の中で生きています。身近な事例としては宴会等の席での18番とか、又プロ野球各球団での背番号18番等です。要の投手に多いこと、その中でもエースとして評価されている人が付けています。ちなみに巨人:桑田、横浜:三浦、広島:佐々岡、ヤクルト:藤井、西武:松坂等々です。

浄土真宗の教えの一番の要である18願(仏の誓いを信じ、念仏申せば必ず往生する)が生活の中で形を転じ定着したと考えられます。

◇今月の安楽寺伝道掲示板

自分が
今生きているのは
先祖が自分の中に
生きているからだ



〒105-0014

東京都港区芝1-12-18 安楽寺 03-3451-1509